

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 30 日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
 コード番号 6023
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石橋 徳憲
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 奉昭
 上場取引所 大阪証券取引所 市場第二部
 U R L <http://www.dhtd.co.jp>
 T E L (06) 6454-2334

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	43,652	(17.6)	3,666	(69.2)	3,504	(111.6)	1,852	(201.1)
19年3月期第3四半期	37,117	(17.3)	2,166	(61.5)	1,656	(94.6)	615	(263.7)
19年3月期	53,307		4,200		3,324		1,666	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	58.17		—	—
19年3月期第3四半期	21.70		—	—
19年3月期	58.44		—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	61,681		12,933		20.0	387.88		
19年3月期第3四半期	56,206		8,118		13.7	270.40		
19年3月期	59,427		11,301		18.2	338.83		

(3) 連結キャッシュフローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	1,916		△1,314		△2,551		4,868	
19年3月期第3四半期	2,539		△543		△629		5,310	
19年3月期	4,896		△1,244		△829		6,817	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
19年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
20年3月期(実績)	—	—	—	5.00	5.00
20年3月期(予想)	—	—	—		

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	61,000	(14.4)	4,700	(11.9)	4,300	(29.4)	2,300	(38.1)	72.21	

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※平成20年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の個別業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	35,823	(20.3)	2,337	(65.7)	2,331	(68.3)	1,296	(72.7)
19年3月期第3四半期	29,769	(24.2)	1,410	(97.4)	1,385	(117.3)	750	(157.7)
19年3月期	41,465		2,233		2,179		850	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	40.71		—	—
19年3月期第3四半期	26.43		—	—
19年3月期	29.79		—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	50,733		10,787		21.3	338.82		
19年3月期第3四半期	44,996		7,632		17.0	268.81		
19年3月期	47,538		9,767		20.5	306.74		

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における我が国経済は、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加や、雇用環境の改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、原油価格の高騰や米国のサブプライムローン問題などにより先行きに不透明感が強まっております。

このような企業環境下、当社主力の内燃機関関連事業を中心に積極的な事業展開を進めました結果、当第 3 四半期の売上高は 43,652 百万円（前年同期比 17.6%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は 3,666 百万円（前年同期比 69.2%増）、経常利益は 3,504 百万円（前年同期比 111.6%増）、当第 3 四半期純利益は 1,852 百万円（前年同期比 201.1%増）となりました。

当社および連結グループの事業の種類別業績情報は次のとおりであります。

①内燃機関関連事業

イ) 船舶用機関部門

国内外の海運・造船業界の活況を受け、主力の新造船向け発電用ディーゼルエンジンを中心に販売台数、売上とも大幅に増加いたしました。また、メンテナンス部品の販売につきましても売上が増加いたしました。

ロ) 陸用機関部門

原油価格高騰や公共事業抑制の影響によりエンジン売上の低迷傾向が続く中、環境対応工事等の受注活動に注力したものの、売上は減少いたしました。

従いまして、当事業①の売上高は部品販売、メンテナンス工事も含めて 38,526 百万円（前年同期比 19.7%増）、営業利益は 4,776 百万円（前年同期比 36.1%増）となりました。

②産業機器関連事業

建築金物関連部門では受注競争、価格競争の激しさが継続しているものの、アルミホイール部門での軽自動車販売好調の影響により、売上が増加いたしました。

従いまして、当事業②の売上高は 4,587 百万円（前年同期比 4.4%増）、営業利益は 254 百万円となりました。

③不動産賃貸関連事業

当事業③の売上高は 679 百万円（前年同期比 4.5%減）、営業利益は 254 百万円（前年同期比 2.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期における連結ベースの現金および現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローは 1,916 百万円増加し、投資活動によるキャッシュ・フローは 1,314 百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは 2,551 百万円の減少となりました。結果として、資金は 1,948 百万円の減少（前年同期は 1,435 百万円の増加）となりました。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上による税金等調整前当期純利益 (3,422 百万円) と減価償却費 (1,247 百万円) などの収入により、棚卸資産の増加 (△2,614 百万円) などの支出がありましたが、営業活動によるキャッシュ・フローは 1,916 百万円の増加 (前年同期は 2,539 百万円の増加) となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得に 848 百万円を支出したことと、定期預金の増加 (423 百万円) により、投資活動によるキャッシュ・フローは 1,314 百万円の減少 (前年同期は 543 百万円の減少) となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金 (906 百万円) と長期借入金 (1,559 百万円) の返済と社債の償還 (120 百万円) により、財務活動によるキャッシュ・フローは 2,551 百万円の減少 (前年同期は 629 百万円の減少) となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 19 年 10 月 24 日に発表いたしました業績予想につきまして、平成 20 年 1 月 30 日付けにて業績予想の修正を行っております。具体的な内容につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・引当金等の計上基準については、簡便な方法を採用しております。
- ・固定資産の減価償却については、当事業年度に発生する予定の減価償却費のうち、期間を基準として計算した当四半期分を計上しております。

(3) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末	〔平成20年3月期〕 第3四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	5,673	5,657			7,183
受取手形及び売掛金	14,859	17,032			16,667
たな卸資産	10,431	12,761			10,146
その他	2,027	2,332			2,191
流動資産合計	32,992	37,783	4,790	14.5	36,188
II 固定資産					
有形固定資産	19,862	20,280			19,688
無形固定資産	66	89			68
投資その他の資産	3,284	3,527			3,482
固定資産合計	23,213	23,897	684	2.9	23,239
資産合計	56,206	61,681	5,475	9.7	59,427
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	11,315	14,241			12,965
短期借入金	8,787	8,548			9,196
一年以内償還社債	—	1,240			120
その他	4,757	7,373			5,663
流動負債合計	24,860	31,402	6,542	26.3	27,945
II 固定負債					
社債	3,000	1,640			2,880
長期借入金	11,820	7,553			9,169
退職給付引当金	4,273	4,352			4,320
その他	4,133	3,799			3,810
固定負債合計	23,227	17,345	△ 5,882	△ 25.3	20,180
負債合計	48,087	48,747	660	1.4	48,126
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	1,420	2,434			2,434
資本剰余金	1,153	2,170			2,170
利益剰余金	2,766	5,967			4,274
自己株式	△ 3	△ 6			△ 2
株主資本合計	5,336	10,565	5,229	98.0	8,876
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	423	286			421
繰延ヘッジ損益	△ 10	6			△ 1
土地再評価差額金	1,804	1,349			1,349
為替換算調整勘定	120	141			142
評価・換算差額等合計	2,338	1,784	△ 554	△ 23.7	1,912
III 少数株主持分	443	583	139	31.5	512
純資産合計	8,118	12,933	4,814	59.3	11,301
負債、純資産合計	56,206	61,681	5,475	9.7	59,427

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	37,117	43,652	6,534	17.6	53,307
II 売上原価	26,896	31,288	4,391	16.3	38,213
売上総利益	10,221	12,364	2,143	21.0	15,093
III 販売費及び一般管理費	8,054	8,697	643	8.0	10,893
営業利益	2,166	3,666	1,499	69.2	4,200
IV 営業外収益	91	196	105	114.7	142
V 営業外費用	602	359	△ 242	△ 40.3	1,017
経常利益	1,656	3,504	1,847	111.6	3,324
VI 特別利益	37	59	22	58.3	41
VII 特別損失	51	141	90	174.1	469
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,642	3,422	1,779	108.4	2,896
法人税等	965	1,496	530	55.0	1,091
少数株主利益	61	73	11	18.9	139
四半期(当期) 純利益	615	1,852	1,237	201.1	1,666

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	1,642	3,422	2,896
減価償却費	1,099	1,247	1,465
売上債権の増減額	1,646	△ 368	△ 100
たな卸資産の増加額	△ 535	△ 2,614	△ 244
仕入債務の増加額	479	1,277	2,051
その他	155	1,125	980
小計	4,487	4,090	7,048
法人税等の支払額	△ 1,651	△ 1,905	△ 1,742
その他	△ 296	△ 267	△ 409
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,539	1,916	4,896
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 574	△ 848	△ 1,060
有形固定資産の売却による収入	28	95	37
投資有価証券の取得による支出	△ 0	△ 108	△ 210
その他	2	△ 452	△ 11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 543	△ 1,314	△ 1,244
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の減少額	△ 3,166	△ 906	△ 3,437
長期借入れによる収入	4,250	200	4,700
長期借入金の返済による支出	△ 1,645	△ 1,559	△ 4,064
株式の発行による収入	—	△ 120	2,028
配当金の支払額	△ 142	△ 159	△ 142
その他	73	△ 6	87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 629	△ 2,551	△ 829
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	69	0	119
V 現金及び現金同等物の増加額	1,435	△ 1,948	2,942
VI 現金及び現金同等物期首残高	3,875	6,817	3,875
VII 現金及び現金同等物期末残高	5,310	4,868	6,817

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	内燃機関	産業機器	不動産賃貸	計	消去又は 全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	38,526	4,587	539	43,652	-	43,652
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	140	140	(140)	-
計	38,526	4,587	679	43,793	(140)	43,652
営業費用	33,749	4,332	425	38,507	1,478	39,986
営業利益	4,776	254	254	5,285	(1,618)	3,666

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	内燃機関	産業機器	不動産賃貸	計	消去又は 全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	32,178	4,395	544	37,117	-	37,117
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	167	167	(167)	-
計	32,178	4,395	711	37,285	(167)	37,117
営業費用	28,667	4,440	462	33,571	1,379	34,950
営業利益	3,510	△ 45	249	3,713	(1,547)	2,166

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位:百万円)

	内燃機関	産業機器	不動産賃貸	計	消去又は 全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	46,441	6,144	720	53,307	-	53,307
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	253	253	(253)	-
計	46,441	6,144	974	53,560	(253)	53,307
営業費用	40,451	6,172	624	47,247	1,859	49,106
営業利益	5,990	△ 27	350	6,312	(2,112)	4,200

(注) ① 事業区分の方法

当社企業グループの事業区分方法は、内部管理上採用している区分によっております。

② 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品等
内 燃 機 関	船舶用及び陸用内燃機関並びに同部品
産 業 機 器	ドアーローザ、オートドア、アルミホイール
不 動 産 賃 貸	事務所及び駐車場賃貸

③ 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の管理部門 (経営企画、管理、経理等) に係る費用であります。

当四半期 1,619 百万円
前年同四半期 1,546 百万円
(参考) 前期 2,114 百万円